

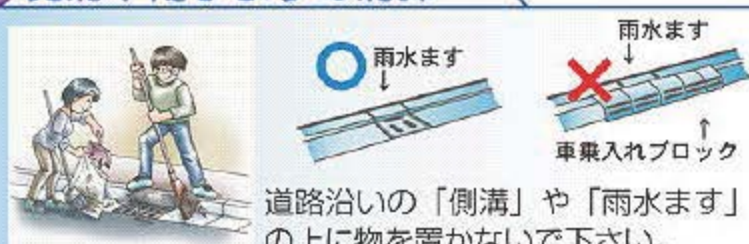
風水害に備えて

地下施設の浸水対策



浸水する危険がある地下室や地下駐車場などには、土のう・止水板・排水設備（ポンプ）などを整備し、日頃から点検を心がけましょう。

側溝や雨水ますの清掃



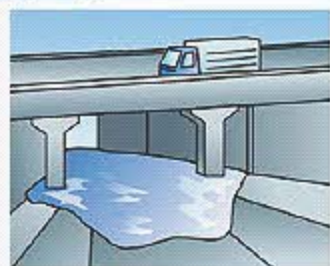
道路沿いの「側溝」や「雨水ます」の上に物を置かないで下さい。

側溝や雨水ますが詰まると、道路冠水や浸水の原因になります。日頃からの清掃にご協力をお願いします。

大雨の時の危険箇所

立体交差点（アンダーパス）

道路や鉄道の下を通るアンダーパスには水がたまり通行ができなくなります。



低いところ（窪地）

アンダーパスの他、周辺より低くなっている道路も水がたまり通行できなくなります。



地下施設の浸水に注意！



冠水すると、水が一気に地下施設へ流れ込んだり、水の圧力でドアが開かなくなることがあります。また、地下にいると屋外の状況がわからないので、注意しましょう。

マンホールに注意！



降雨量が多くなるとマンホールのふたが外れたりすることがあります。また、道路に雨水が溜まった時に、マンホールや側溝のふたを開けて水を流すことは、非常に危険です。

風水害後の安全確認

電線の断線



断線している電線を見つけた時には、子どもが近づかないように注意をし、すぐに電力会社へ通報してください。

危険物の漏れだし



ガスや石油など危険物の漏れ出しがあれば、周囲の人に危険を知らせ、ガス会社や消防署に通報してください。

家屋の破損箇所



屋根瓦やアンテナなどが破損している場合や、落下の危険があるときは、除去や補修を行ないましょう。

衛生対策



浸水の後には、床下や庭の消毒を行ないましょう。特に床上浸水の場合は、畳や家具などの日光消毒も十分行ないましょう。